

# 巨大災害からの復興 第二回国際シンポジウム 人、コミュニティと計画

3月16日(月) 13:30~19:30  
(開場 13:00)

東北大学  
川内北キャンパス  
C201

本シンポジウムでは、自然災害後の復興過程で要となる「人」「コミュニティ」及び「計画」の要素に焦点を当て、巨大災害を経験した先進国(日本、アメリカ、ドイツなど)や途上国(インドネシア、フィリピンなど)での取り組みについて、各国代表者から事例を共有・発信します。さらに、これらを計画学的視点から整理し、人・コミュニティを中心とした復興プロセスの枠組みについて探ります。



言語: 英語  
通訳: 無し

問い合わせ先: [ird.lab3@gmail.com](mailto:ird.lab3@gmail.com)  
[www.resilience.lab.irides.tohoku.ac.jp](http://www.resilience.lab.irides.tohoku.ac.jp)

主催: 東北大学災害科学国際研究所

共催: 防災グローバル・ファシリティ(世界銀行)、ドルトムント工科大学、イリノイ大学



**GFDRR**  
Global Facility for Disaster Reduction and Recovery



**ILLINOIS**  
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



**THE WORLD BANK**



**tu** technische universität  
dortmund



UN World Conference on  
Disaster Risk Reduction  
2015 Sendai Japan

# プログラム

13:30-13:35 開会のあいさつ・企画説明 井内加奈子 (東北大学災害科学国際研究所)

13:35-15:15 第1部「復興政策・計画」 司会:ナディーン・マグデフラウ

中越大震災後の住民移転政策と過程・結果 井内加奈子 (東北大学災害科学国際研究所)

東日本大震災後の復興計画プロセスとその課題 姥浦道生 (東北大学大学院工学研究科)

災害復興を考慮する:より早く、強靱に、縁深く、公平に カール・キム  
(ハワイ大学都市・地域計画学部)

復興の体系化に向けて:計画と政策・実施 ロバート・オルシャンスキー  
(イリノイ大学都市・地域計画学部)

エルベ洪水後の土地利用による災害リスクコントロール:ドイツの取り組み  
ステファン・グリービング (ドルトムント大学空間計画学部)

15:35-17:15 第2部「地域再生」 司会:エリザベス・マリ

過疎地域における復興:新潟県中越地震の復興プロセス 澤田雅浩  
(長岡造形大学建築・環境デザイン学科)

居場所カフェ:レジリエンスと地域一体性のために高齢者と歩む 清田英巳 (NGO法人Ibasho)

メラピ火山噴火後の持続可能な生活再建にむけての計画 ラマワティ・フセイン  
(ムハマディア大学ジョグジャカルタ)

復興における貧困層のエンパワーメント マーガレット・アーノルド  
(防災グローバル・ファシリティ<GFDRR> (世界銀行))

ドイツにおける住民移転の経験 ナディーン・マグデフラウ  
(ドルトムント工科大学空間計画学部)

17:35-19:15 第3部「住宅再建と移転」 司会:井内加奈子

災害後の復興における文化的側面 ジェニファー・デュン・バレンスタイン  
(ワールドハビタット研究センター)

昭和三陸津波後の再定住地と東日本大震災 牧 紀男 (京都大学防災研究所)

東日本大震災における個人移転と集団移転による住宅再建ー生活と空間からの分析  
近藤民代 (神戸大学大学院工学研究科)

ジョグジャカルタ地域における人間中心の復興住宅 エリザベス・マリ  
(東北大学災害科学国際研究所)

グローバル課題にローカルの解決法を:ニューヨーク市における都市の災害住宅プロトタイプ  
シンシア・バートン (ニューヨーク市OEM住宅復興事業部)

19:15-19:25 閉会のあいさつ ロバート・オルシャンスキー  
(イリノイ大学都市・地域計画学部)